



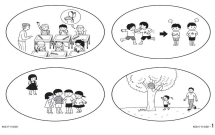
5歳児クラス 11月 第3回 「そんなときなんていう？」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 「そんなときなんていう？」をみんなで考える。 ペアになり紳士、淑女になる。場面に応じた作法をおぼえる。 失礼の無い応対ができるように、話し方をおぼえる。 保育園での生活でも言うような場面も考える。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「先生昨日、おばあちゃんからお菓子もらったんだけど、みんなはお菓子もらったら何て言う？」「お菓子をあげる時は何て言う？」いろいろな場面を想定した「そんなときなんていう？」を質問する。 紳士と淑女って知ってるかな？難しいね…紳士と淑女は「そんなときなんていう？」が上手に言えるんだって、等でお話に繋げる。 	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 会話をする • 子どもの一員になりお話を聞く 

がくしゅうタイム

活動①	生活	絵を見て自分だったらなんて言うか考え、ことばで表現することができる。	
設問		プリントの絵を見て「そんなときなんていう」を考えましょう。	
つなぎ		保：「困ったな、困ったな」と、プリントを持って登場	教材
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> 講：「先生困っているみたいだけど、こんなときなんていう？」と、子どもに問いかける。 講・子：「どうしたの？」等、子ども達が答えた言葉を保育士に声がけする。 保：「なんて言ったらいいのかわからなくて」プリントをもらう。 それぞれどんな場面なのかお話しする。 「そんなときなんていう？」と問いかけ、それぞれ子どもたちは発表する。 「〇〇してください。〇〇してもいいですか」等、丁寧な言葉で言えるか。 発表した言葉を保育士が鉛筆でプリントに記入するのもよい。子どもにより答えが違うので、いろいろな意見が出るように促す。 花丸等で賞賛して終了。 	P1 ★赤鉛筆・ハンコ 保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> • プリントを届ける • プリント配布 • 子どものフォロー • 賞賛
活動②	ことば	ことばのやりとりを楽しみながらお友達と包帯巻きをすることができる。	
設問		「そんなときなんていう？」お友達と包帯巻きをしましょう。	
つなぎ		講：「いたいよいたいよ～」	教材
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> 保：「どうしたの？どこがいたいの？」 講：「うでがいたいの…」「うでがいたいので、包帯を巻いてください」等。 講師と保育士で「こんなときなんていう」のことばのやりとりをし、包帯を巻く見本を見せる。 「ここに巻いてもいいですか？」「きつくないですか？」などコトバのやりとりをしながら2人でペアになり包帯を巻きあう。 賞賛して終了する。 	包帯(4～5人で1巻)
		<ul style="list-style-type: none"> • 講師と会話をする • 包帯を巻く • 子どものフォロー • 賞賛 	保育士の役割
		※あらかじめ包帯は、人数分切っておくのもよい。	

活動③	ことば	自分の名刺を作り「こんなときなんていう」を話し合い、名刺交換を楽しむ。	
設問	名刺を作り、名刺交換をしましょう。(こんなときなんていう)		
内容	<ul style="list-style-type: none"> 保:「失礼いたします。こんにちは、私は〇〇と申します、どうぞ、よろしくお願いいたします。」名刺を差し出す 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「これはこれのご丁寧に、ありがとうございます」「私は〇〇です、よろしくお願いいたします。」等で名刺交換をする。 「先生達は何してたと思う？」問いかける。「お父さんとかお母さんが持っているかな?」「これは名刺だよ」「初めて会う人に自分のことをわかってもらうために名刺を交換するんだよ」等、話し合う。 「こんなときなんていう?」を考えたり意見を聞いたりしながら進めていく。 「名刺交換やりたい人!」等、子ども達の意欲を引き出し活動に繋げる。 子どもたちにも、カードを配り、鉛筆で名前を書く。 もう一度「こんなときなんていう?」を確認して始める。 恥ずかしい子や言葉が出ない子にはフォローする。 賞賛して終了。(持ち帰る名刺は自分のでも、交換したものでもよい) <p>※名刺を講師と保育士予め作っておく。</p>		名刺カード(3枚) 講師用名刺カード ★鉛筆 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 講師と会話をする 名刺交換をする 子どものフォロー 賞賛

数子ヤレ	数	10の操作が出来る	教材
設問	おはじきを使い10個の操作をしましょう。		おはじき お皿(5個~7個入り) お皿(数個)
活動内容	<p>今月は10個の操作です。お皿に5~7個入れておき、あと何個入れたら10個になるか、別のお皿(数個入っている)そこから5~3個取りお皿に入れて10個になったか数える。(クラス・個人に合わせて数を調整する。)</p>		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 皿提示 子どものフォロー